

医療的ケア児・者等支援促進事業の取組状況について

1 横浜型医療的ケア児・者等コーディネーターについて

医療・福祉・教育分野等の支援を総合的に調整する、横浜型医療的ケア・児者等コーディネーターについて、2020年4月から6か所（磯子、鶴見、南、旭、青葉、都筑）の拠点による18区を対象とした支援を実施しています。2023年度から4か所で複数配置としました。

横浜型医療的ケア児・者等コーディネーター拠点 ※必要に応じて担当区域外での支援が可能

拠点設置区	担当区域	配置年度
青葉区（2名）	緑区、青葉区	令和2年度
都筑区（2名）	港北区、都筑区	
鶴見区（2名）	鶴見区、神奈川区	
旭区（2名）	保土ヶ谷区、旭区、泉区、瀬谷区	
南区（1名）	西区、中区、南区、戸塚区	
磯子区（1名）	港南区、磯子区、金沢区、栄区	令和元年度

2 横浜型医療的ケア児・者等コーディネーターの活動実績について

(1) 令和4年度相談支援について

ア 相談件数：延731件（内新規410件）

・相談件数は毎年増加しており、コーディネーターの存在が認識されてきたと思われます。

<令和4年度>

拠点名	件数	<参考> R3年度	<参考> R2年度
青葉区	113	114	97
都筑区	179	81	122
鶴見区	69	57	56
旭区	83	118	82
南区	187	168	115
磯子区	100	121	89
合計	731	659	561

イ 相談対象者の年齢

- ・「幼児②（3～6歳未満）」が最も多いです。乳幼児期の相談が全体の約6割を占めており、相談ニーズの高さがうかがえます。

<令和4年度>

相談対象者の年齢	件	%
乳児（1歳未満）	78	10.7%
幼児①（1～3歳未満）	128	17.5%
幼児②（3～6歳未満）	203	27.8%
児童①小学生（6～12歳未満）	117	16.0%
児童②中学生（12～15歳未満）	43	5.9%
児童③高校生（15～18歳未満）	31	4.2%
18歳以上	91	12.4%
年齢不明	40	5.5%
合計	731	100%

<参考：令和3年度>

相談対象者の年齢	件	%
乳児（1歳未満）	56	8.5%
幼児（1～6歳未満）、少年（6～18歳未満）	462	70.1%
18歳以上	103	15.6%
年齢不明	38	5.8%
合計	659	100%

ウ 相談者（延べ数）

- ・相談者は、昨年度と同様に「家族」が最も多いですが、割合は昨年度から減少しました。病院や保育園からの相談が、昨年度と比べて増えています

<令和4年度>

相談者	件数	%	<参考> R3年度%
家族	202	27.6%	32.7%
病院	132	18.1%	14.3%
訪看	87	11.9%	11.8%
福祉保健センター	75	10.3%	6.9%
福祉施設	67	9.2%	7.5%
保育園	36	4.9%	0.0%
基幹相談支援センター	31	4.2%	5.6%
学校	17	2.3%	6.9%
相談支援専門員	17	2.3%	4.7%
療育センター	14	1.9%	2.5%
その他	53	7.3%	7.1%
合計	731	100.0%	100.0%

エ 相談内容（重複回答可）

・これまで「福祉サービス」の相談が一番多かったですが、令和4年度は「保育園・幼稚園」が増加し最多となりました。

<令和4年度>

相談内容	件数	%	<参考> R3年度%
保育園・幼稚園等	162	17.7%	12.6%
福祉サービス	161	17.6%	16.4%
訪看	104	11.4%	13.8%
学校	104	11.4%	9.0%
退院調整	68	7.4%	7.1%
かかりつけ医の紹介	63	6.9%	4.0%
レスパイト	45	4.9%	6.5%
年齢移行	12	1.3%	1.6%
その他	197	21.5%	29.0%

(2) コーディネーターの支援とネットワークづくり

ア コーディネーター定例会

令和4年度はコーディネーターと本市4局担当者、医師会担当で定例会を月1回開催し、事例検討を通してコーディネーターの役割について再確認を行いました。

イ 地域でのネットワーク形成と普及啓発

関係機関の連絡会や研修会等にコーディネーターが出席し、本事業の普及啓発を行うとともに、関係機関との連携強化や、地域の支援者への助言・技術支援なども行っています。

<令和4年度実績>

(ア) コーディネーターが出席した連絡会等

○区自立支援協議会（重心部会等） ○区訪問看護連絡会 ○区保育園看護師連絡会
○区多職種会議 ○医ケア児・者等家族会

(イ) コーディネーターが訪問した関係機関等

○特別支援学校 ○放課後等デイサービス事業所
○横浜市総合リハビリテーションセンター ○療育センター
○神奈川県立こども医療センター ○こどもホスピス ○地域子育て支援拠点

(ウ) 地域の支援者への助言・技術指導等

○保育園 ○特別支援学校 ○基幹相談支援センター
○横浜市総合リハビリテーションセンター ○在宅医療連携拠点

3 コーディネーターの養成について

医療的ケア児・者へのコーディネーターによる支援が継続的におこなえるように、令和4年度に養成を行い、市内6つの拠点のうち4拠点で複数体制を整えました。

(1) 新たに養成したコーディネーターの配置について

鶴見区・青葉区・都筑区及び旭区コーディネーター拠点を設置している区医師会訪問看護ステーションに所属する訪問看護師 4名

(2) コーディネーター養成の研修について

「横浜型医療的ケア児・者等コーディネーター養成研修」は、国の「医療的ケア児等コーディネーター養成研修」のカリキュラムだけでなく、医療機関・福祉施設・学校等での実地研修を加えた内容としています。

4 各種研修の実施状況について

(1) コーディネーターのフォローアップ研修

ア 対象者

横浜型医療的ケア児・者等コーディネーター 10名

イ 目的

コーディネーターの役割を確認し、活動について振り返る機会をもつ。

ウ 講師

一般社団法人 医療的ケア児等コーディネーター支援協会に選出依頼予定

エ 日時・場所・内容

実施形式含め調整中

(2) 支援者フォローアップ研修

ア 対象者

医療的ケア児・者支援者養成研修受講者

イ 目的

- (ア) 支援者に継続して地域で活躍してもらうために、支援や連携に必要な、現場で知りたい内容等について伝え、継続的にフォローする。
- (イ) コーディネーターと地域の支援者が顔が見え、連携できる関係を作る。

ウ 日時・場所・内容

実施形式含め調整中

(3) 横浜型医療的ケア児・者等支援者養成研修

ア 対象者

市内訪問看護ステーション所属の訪問看護師、障害福祉サービス事業所、保育園・幼稚園・学校・医療機関等で従事する方の中で医療的ケア児・者等の支援に関心がある方(定員:50名)

※スポット受講は定員を設けず、Zoomでの参加が可能

イ 目的

「横浜型医療的ケア児・者等支援者」として、医療的ケア児・者等支援及び多職種連携についての基礎的知識の習得し、医療的ケア児・者等支援に関する医療・福祉・教育等に関する知識及び関係者との連携について学習する。

※本研修を全講座来場で受講し、修了した方には、「横浜型医療的ケア児・者等支援者養成研修」修了証書を交付します（「要医療児者支援体制加算」の算定要件の一部です）。

ウ 時期

令和5年5月25日（木）から12月3日（日）まで

16講座 全8日間

エ その他

支援者養成研修修了者の所属する事業所等の一覧をホームページ上で公表します。

(4) 横浜型医療的ケア児・者等支援者養成見学実習

ア 対象者

横浜型医療的ケア児・者等支援者養成研修修了者及び横浜市が認める※者（定員：45名）

※横浜型医療的ケア児・者等支援者養成研修修了者が所属する施設に従事している職員、医療的ケア児・者の受入れが決定している施設の職員等

イ 目的

横浜型医療的ケア児・者等支援者養成研修修了者等が、必要な知識・技術の習得のために訪問看護ステーション等で見学実習を行い、自身が所属する施設・事業所等において、医療的ケア児・者等の受入れを進める。

ウ 内容

- (ア) 習得したい医療的ケアを実践している訪問看護ステーションの看護師に同行し、医療的ケアの準備から実践、観察ポイントや家族のやりとり等、説明の様子を見学する。
- (イ) 医療的ケア児・者が利用予定の施設に講師である訪問看護ステーションの看護師が伺い、医療的ケアの実践、観察ポイント等についてのアドバイスや情報交換を行う。

エ 時期

令和5年6月から令和6年3月末まで（令和5年6月から募集開始）

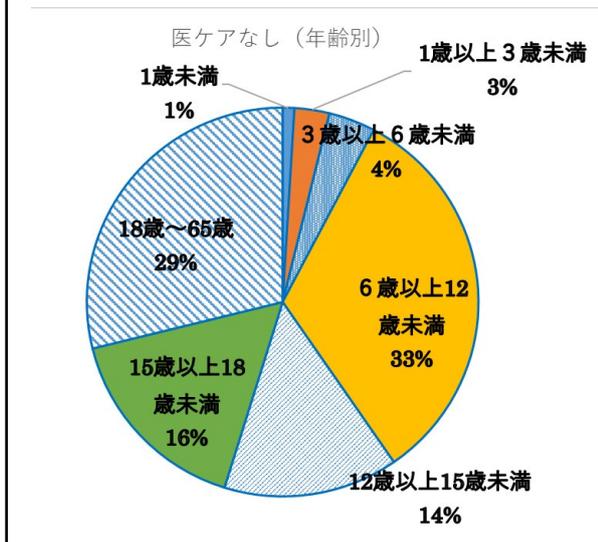
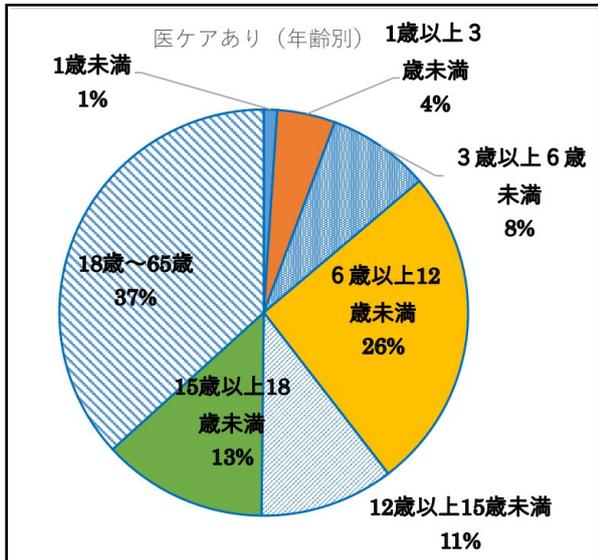
オ 参加者及び申込者（令和5年6月末時点）

2名

5 医療的ケア児登録フォームの登録状況について

登録者数（令和5年7月14日時点）：400人

①年齢別及び医療的ケアの有無

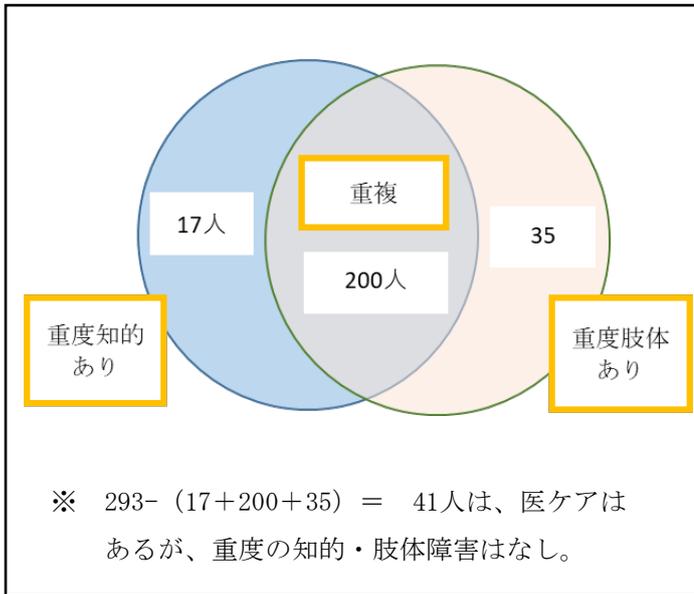


②区別及び医療的ケアの有無（人）

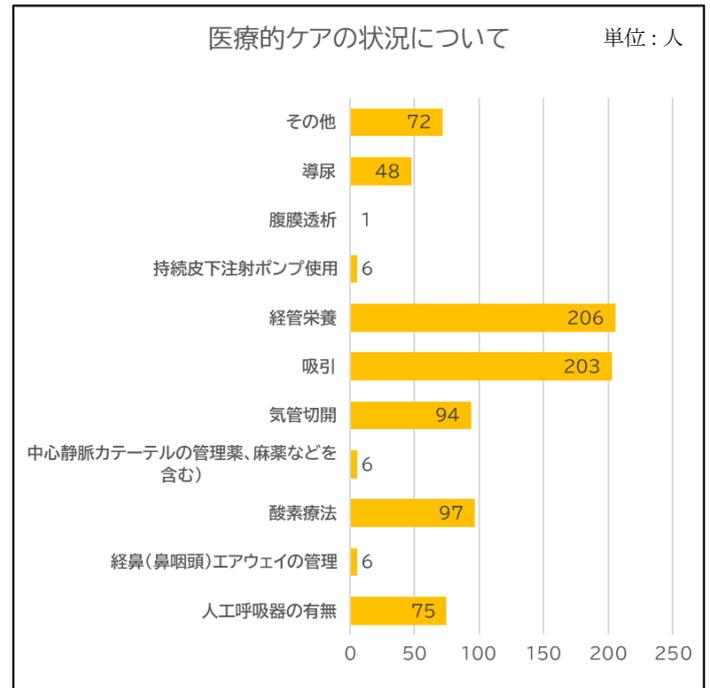
区名 × 医療的ケアの有無

区名	医ケアあり		医ケアなし		未記入		計
鶴見区	19	6.5%	12	11.3%	0	-	31 7.8%
神奈川区	14	4.8%	2	1.9%	1	100.0%	17 4.3%
西区	13	4.4%	4	3.8%	0	-	17 4.3%
中区	10	3.4%	3	2.8%	0	-	13 3.3%
南区	21	7.2%	2	1.9%	0	-	23 5.8%
港南区	14	4.8%	8	7.5%	0	-	22 5.5%
保土ヶ谷区	15	5.1%	4	3.8%	0	-	19 4.8%
旭区	21	7.2%	9	8.5%	0	-	30 7.5%
磯子区	12	4.1%	1	0.9%	0	-	13 3.3%
金沢区	14	4.8%	0	0.0%	0	-	14 3.5%
港北区	36	12.3%	15	14.2%	0	-	51 12.8%
緑区	8	2.7%	13	12.3%	0	-	21 5.3%
青葉区	20	6.8%	9	8.5%	0	-	29 7.3%
都筑区	19	6.5%	6	5.7%	0	-	25 6.3%
戸塚区	22	7.5%	7	6.6%	0	-	29 7.3%
栄区	11	3.8%	2	1.9%	0	-	13 3.3%
泉区	11	3.8%	7	6.6%	0	-	18 4.5%
瀬谷区	13	4.4%	2	1.9%	0	-	15 3.8%
計	293	100.0%	106	100.0%	1	100.0%	400 100.0%

③医療的ケア有りとは回答した方（293人）のうち、重度知的障害と重度肢体障害がある方

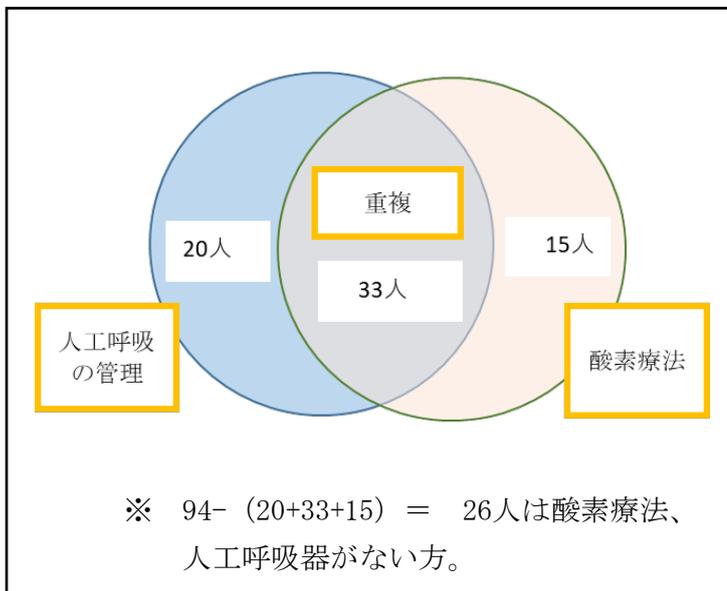


④医療的ケアの状況について



(参考) 障害の重複状況について

①気管切開の方（94人）の医療的ケア重複状況



②人工呼吸器と経管栄養の重複状況

